

# 自己有用感を高める支援の工夫

## 「自己有用感グロウアップナビ ～認め合い活動と児童同士の相互評価の蓄積～」の作成と活用を通して

研究構想図

長期研修員 大澤 久美子



### 自己有用感の高まりを感じる児童

みんなに認められた  
クラスの役に立てた



教師と児童が

よりよく関わるために

児童と児童が

よりよく関わるために

#### ◆ポジティブワード

児童が他者や学級に貢献できることに気付くようにするために、教師が児童に「関わる方法」を例示

児童が自分のよさやがんばりに気付く

教師が児童を認める

児童が他者や学級に貢献しようとする姿を促すために、その姿を教師が学級全体に「紹介する方法」を例示

児童と児童がそれぞれのよさやがんばりを認め合う

日常につながる活動

◆認め合い活動【応援する】  
応援する言葉をワークシートに書き合う活動

実践する期間

◆児童同士の相互評価の蓄積  
「いいねカード」を1人1台端末で送り合い承認の言葉を伝え合う活動

本時の活動

◆認め合い活動【伝える】  
1人1台端末を用いた交流を通して気付いた他の児童のよさやがんばりを伝える活動

本時に向かう活動

◆認め合い活動【知る】  
学級の実態や目指す学級の姿について話し合うことを通して自分の考えやよさを知る活動

#### ◆グッドチョイス②

児童が他者や学級に貢献しようとする姿を促すために、その姿を教師が学級全体に「紹介する方法」を例示

児童と児童がそれぞれのよさやがんばりを認め合う

日常につながる活動

◆認め合い活動【応援する】  
応援する言葉をワークシートに書き合う活動

実践する期間

◆児童同士の相互評価の蓄積  
「いいねカード」を1人1台端末で送り合い承認の言葉を伝え合う活動

本時の活動

◆認め合い活動【伝える】  
1人1台端末を用いた交流を通して気付いた他の児童のよさやがんばりを伝える活動

本時に向かう活動

◆認め合い活動【知る】  
学級の実態や目指す学級の姿について話し合うことを通して自分の考えやよさを知る活動

#### ◆グッドチョイス①

児童が他者や学級に貢献できることに気付くようにするために、教師が児童に「関わる方法」を例示

児童が自分のよさやがんばりに気付く

教師が児童を認める

児童が他者や学級に貢献しようとする姿を促すために、その姿を教師が学級全体に「紹介する方法」を例示

児童と児童がそれぞれのよさやがんばりを認め合う

日常につながる活動

◆認め合い活動【応援する】  
応援する言葉をワークシートに書き合う活動

実践する期間

◆児童同士の相互評価の蓄積  
「いいねカード」を1人1台端末で送り合い承認の言葉を伝え合う活動

本時の活動

◆認め合い活動【伝える】  
1人1台端末を用いた交流を通して気付いた他の児童のよさやがんばりを伝える活動

本時に向かう活動

◆認め合い活動【知る】  
学級の実態や目指す学級の姿について話し合うことを通して自分の考えやよさを知る活動

## 自己有用感グロウアップナビ



| 児童の実態  | 教師の願い  | 国・県の動向   |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「他の児童から認められた」という実感が不足している</li> <li>他の児童とうまく関われない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童がよさやがんばりを発揮し認め合える学級にしたい</li> <li>具体的な支援方法を知りたい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会性の基礎となる自己有用感を育む</li> <li>豊かな人間性の育成</li> </ul> |

# 「自己有用感グロウアップナビ」を活用した学級活動実践例 〔学級カパワーアップ大作戦(高学年)〕

## 教師と児童がよりよく関わるために 「教師の関わり方編」を活用する

## 児童と児童がよりよく関わるために 「学級活動編」を活用する

### 「グッドチョイス①」の活用

活動をしている児童の姿と照らし合わせ、**ポジティブワード**を参考に言葉掛けをし、児童を認める。

この子は3の段階のようだ



③ 教師がこれまでしていたことを児童に委ねる



#### 3の段階

先生の代わりにみんなに伝えてくれるんだね。  
やってごらん。応援しているよ。

### 「グッドチョイス②」の活用

児童同士が関わる様子と照らし合わせ、**ポジティブワード**を参考にその様子を学級全体に紹介し、児童が自他のよさやがんばりに気付くようにする。

この子はBの状態みたい



#### Bの状態

よい考えをしているね。  
みんなに伝えてみようか!

あの二人はDの状態と言えそう



#### Dの状態

二人は、褒め合うのがじょうずだよ。見ているみんなはどんな感じがしたかな?

学級報

向本時に向かう活動

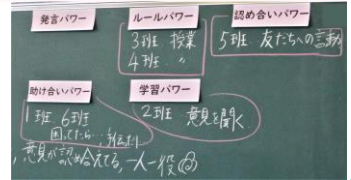
本時の活動

実践する期間

日常につなげる活動

### 認め合い活動【知る】を取り入れる

学級の実態を知り、どの学級力をパワーアップさせたいかについて自分の考えのよさを知る。



### 認め合い活動【伝える】を取り入れる

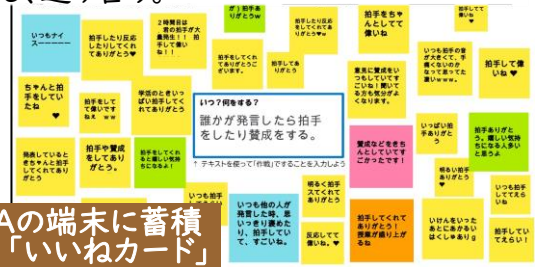
学級カパワーアップ大作戦の活動内容を出し合った後に、アイデアのよさを互いに伝える。



学級力がアップしそうでいいね!

### 児童同士の相互評価を蓄積する

「いいねカード」に他の児童を承認する思いを入力し、送り合う。



### 児童Aの端末に蓄積された「いいねカード」

### 認め合い活動【応援する】を取り入れる

学級力を更にアップさせるために、新たに決めた取組を紹介し合い、ワークシートに応援の言葉を書き合う。



応援しています!

とてもいいと思う!  
がんばってね!

成果

認め合い活動と児童同士の相互評価の蓄積を繰り返し行ったことで、児童に貢献と承認の思いを実感させ、自己有用感を高めることができた。

課題

認め合い活動と児童同士の相互評価の蓄積を年間指導計画に位置付けたり、学校行事と関連させたりし、継続して取り組めるようにしていく必要がある。

提言

学校生活や学級活動において、認め合い活動と児童同士の相互評価の蓄積を繰り返し行い、児童が自己有用感の高まりを実感できるようにしていきます。